京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

株式賣買手續(六)

株式小僧

▲買戻(買解)

一、前項に依り一旦賣建相成候後愈々相場の低落を示したる時は之を期日内に買戻し前賣渡の契約を解く爲め買埋めらるゝ儀に候

一旦他日の低落を豫想して賣建と爲したる株券なれば其期月内に相場の下落を見ば之を買戻して其差金を利するこど當然の事なるべし或は賣建の當時と差して變動を見ざるも該株引渡の煩を避けん爲め或は前途騰貴の見込を以て今日に於て買戻を利とするが如き時に用ゆる便宜法なり恰も買建者が理想に一致せる騰貴を爲したるが故に轉賣を欲すが如く買戻は賣建の際に於ける推定に違はざる狀態を成形したる場合に應用する一法なり

▲乘換

一、賣買何れが建てたる株式が當月限となれるか又は中月限となりたる時一先づ時價にて手仕舞ふと同時に新たに先月限に於て建株し最初賣買の目的を繼續せらるゝ儀に有之候

此法を適用すべき場合亦た尠なきにあらず蓋し乘換は商機の良否に關せず之を他日の期月に繼續して其目的を達するものなれば所謂運用の妙理は此邊に存する事頗ぶる多し彼の一旦賣建又は買建を爲したる株の高低能く其圖に當れるを以て好機逸すべからず之を尚ほ先期へ繼續して一擧萬金の奇利を獲得するもの若くは之に反して市場の變体を現じ更に他日に於て其好機を制せんと欲する時將又た期日に迫りて現物受渡に故障を感じたる等を救濟するに適用すべき正反極端の兩面を含むものにして變化自在轉輾巧妙此に至りて極まれりと謂ふべし

▲清州通信(一日)

▲農產品評會　朝鮮農會清州支會の事業に係る第一回農產品評會は愈去十五日開會二十一日を以て閉會せられたり今其狀況を報せんに道廳門前には大緑門を建設し穀類を以て農產品評會の五文字を顯したる大扁額を揭げ正門及會場入口には國旗を交叉し會場並に物產陳列場に無數の萬國旗を以て美々しく裝飾を施し恰も花の隧道の如く頗る光彩を添へたり出品物は米、大麥、小麥、大豆、小豆の五種にして總計一千八點之れが審査は開會勞頭に結了し其成績を發表せられたるに依り觀覽者は其精粗優劣を比較品評するに當り非常の便宜と趣味とを與へたり出品は各種を通じて優品に乏しからず第一回としては先以て成功と稱するを得べし其成績の概略を擧ぐれば報恩郡の受賞歩合百分の五十六を最高とし沃川郡の四八、永同郡の四十七、丹陽郡の四十四、清州郡の四十等之に亞ぎ以下堤川青山槐山文義等とし鎭川郡之が殿たり參考品には勸業模範場出品の穀類、煙草、麻繭、生糸並作蠶繭糸等にして就中朝鮮在來種と日本種との繭の實物比較は觀覽者に非常の刺擊を與へたるが如し雞鳥支場の芝罘白菜蔥札幌牛蒡札幌胡蘿蔔等は素敵の出來榮にして流石は專門家の腕前なりと敬服せしめたり大邱韓國製莚合資會社出品の高麗莚は品質堅牢製織巧緻にしてワングル獨特の光彩を放ち忠淸北道模範農場出品の穀類は何れも見事にして調製上に苦心の跡歷々たり根菜類中方領大根聖護院大根同蕪菁は形狀品質共に優良にして實に逸品と稱すべく列品を睥睨するの慨あり又觀覽者は招致に努めたる結果日に四五百乃至千名以上に及び鎭川清安淸州陰城青山文義郡よりは團体觀覽あり又附近學校生徒の觀覽等ありて頗る雜沓を極めたり會場及物產陳列場の參觀を終へたるものは之を忠北模範農場に導き同場に於て製莚器製繩器各二臺を運轉し實地作業を縱覽に供し又京城三輪商會出陳の改良農具數十點あり其他種牡牛養雞園場等を巡覽せしむる等用意誠に周到なりし褒賞授與式は會期中日たる十八日を以て道廳事務室内に擧行せられ會する者官民百數十名支會商議員澁谷内務部長開式を宣し次に支會長鈴木道長官は式辭を朗讀せられ勸業模範場技師野木博三氏は審査長として審査の報告を爲すと同時に剴切なる批評を試み續て鈴木會長は一等賞より四等賞に至る三百の褒賞を授與し終て道長官として告辭を朗讀せられ野木技師は更に演壇に顯はれ社會文野の差異より說起して朝鮮農民の時弊に論及し頗る感動を與へたり是にて式を閉ち來賓には農會特別誂の手巾及農場產の銘葉を以て調製したる卷煙草を寄贈せられたり

▲稻扱傳習會　朝鮮農會清州支會の事業たる第二回稻扱傳習會は品評會開會を機とし本月十九日より廿一日まで三日間本道模範農場に於て擧行せられたり會員は清州郡内の精農家二十五名を選拔募集し教師として本道技手高橋彥一氏助手として農場常農夫岡部勝次氏之に當り高橋技手は稻扱器の構造より日本式調製法と朝鮮在來の打租法との利害得失を說き且つ稻作改良の一班を教授し終て作業に練習せり開會中は品評會參觀者を招致し縱々來觀者あり米穀調製改良上裨益を與へたること少らず其成績の概要を擧ぐれば最終日に於て十七人平均一時間の功程三斗九升二合最多五斗一升六合最少三斗一升二合に達し一日九時間の作業に換等すれば優に打租法の一倍半の功程に當り成績頗る佳良なり二日以上練習者にして修了證書を與へたるもの十七人成績佳良にして賞品を與へたるもの十名に達したり

▲農事幻燈會　朝鮮農會清州支會は農產品評會の餘興を兼ね遠來參觀者の旅情を慰め且つ農事改良を鼓吹せんが爲め公立清州普通學校に於て農事幻燈會を擧行せり聽衆は每夜七時前より詰掛けさしもに廣き教室も立錐の餘地だになく開會に立ち役員の挨拶あり夫より稻作改良養蠶植林等と順次に各專門家の詳細なる說明あり何れも斯業上稗益少からず就中谷影畵中に日本婦人の甲斐々々しき粉裝にて勞働せるを見少からず感動を與へたるもの〻如し

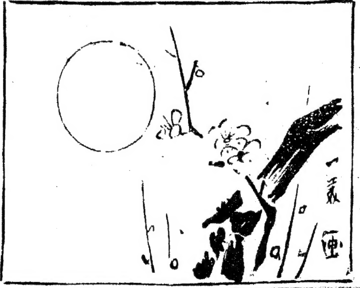
和歌募集

勅題「寒月照梅花」

選者 九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十四年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮つて投詠せられんことを希ふ

十二月二日　本社編輯局



新刊紹介

▲法政新聞　第二十六號十一月廿五日發行論說、談叢、雜錄、判決例等讀物頗る豐富廣川町同社發行

▲韓國銀行月報(非賣品)　韓國銀行の發刊するものにして同銀行に關する事業統計等の外一般經濟界の狀況を記す

▲東京經濟雜誌　十一月廿六日一千五百七十號發行例に依つて記事頗る豐富東京京橋彌左衛門町七同社發行

▲大阪仕入案内　附汽車旅行案内は眞に商工家の羅針盤たり大阪西區京町堀上通四丁目大阪仕入案内社隔月十五日發行一部前金十五錢

▲少年　十二月號出づ例に依つて趣味津々たるものあり東京京橋區南鍋町時事新報社發行

俳句

△祖翁忌芳詠六十三章甲乙逆列

花儒園犂雲宗匠撰

紅葉ちる中や還幸の供ぞろへ　米水
心地よう下戸も醉けり玉子酒　其月
軒低き社は古りて散る紅葉　悟竹
殘りたる菊咲きそろふ小春哉　鈍蝶
妾宅の夜は靜かなり玉子酒　紫水
松葉籠並へて濱の小春哉　半翰
潛きながら船の垢くむ小春哉　半翰
武者三騎小春の野邊を過玉ふ　萩月
小春日や今日も野遊び山遊び　部天女
かれ菊の影窓にさす小春哉　半翰
時雨ともならで紅葉の散日哉　同
紅葉散る山路は秋の行衞哉　思遊
茶に醉て寢つかれぬ夜や玉子酒　米水
◎人　美しき人の醉けり玉子酒　如春子
◎地　蓑虫の宿は殘して散る紅葉　梅窓
◎天　蝶も來て居るや小春の青菜畑　其月
◎追加　松曳て戻る人ある小春かな　犂雲

山中鹿之助

第廿七回　西尾麟慶演

森之助は美濃守の今まで恩義を思ひまするど無碍に之を斷はると云ふ事もならず、然らば仰に依て兎に角と云つて諏訪ケ城を預る事になりました、ソコデ更科及鹿之助を連れまして乘込みましたが此の西北に當つて粟ケ嶽の高山がある、大井川の水源で御座ひまして此處に觀世音を安置してあります、相木夫婦は此の觀世音を信仰致して居ります、月の十八日には必ず粟ケ嶽へ登山を致して參詣致します、或日の事空晴々と致して、見ればコハ不思議松風と共に聞ゆる簫の音最ゆかしく、森之助は是必ず凡人ならず其者は如何なる者か逢たしと思ひ、彼方此方を廻り松柏生茂り、誠に仙境に入りたるかと思はるゝ心地が致しますが、知らず〳〵其音色を慕ひまして二人が谷間を越ねて來りますると、萩の柴戸がありまして其内より簫の音色が聲ねます、立止つて居りますと、暫あつて庵の内にて○「ハラ心得難き事なり、此の簫の音の殺伐の氣を含んだるは誰か人ありと覺ねたり」と簫の音を止て○「何人なるか苦かるまじ入り給へ」と聲を掛られ表に立ちし森之助夫婦は顏を見合せて、斯くこそ只ならぬ處の翁なり、と庭の柴戸を開けて御免と中へ這入りました、稍あつて面を見かはして森「ヤ、貴殿は井上殿ではござらぬか　井「ウム左う云ふ貴公は相木森之助殿……是は〳〵と互ひに其恙なきを祝し、更科とも挨拶終つて、夫より四方山の話に移る、



此の井上九郎も村上家の忠臣で　したが、村上家滅亡によつて　致し、此處へ來て影を隱し、　にも姿を見せざるの決心で　計らず森之助夫婦に出會しまし　に共に連れ來つたる小兒にと　して、更科が身の上の物語を致　場美濃守の爲に一旦夫は死た　時ありしも實は馬場美濃守の影　なり、甲斐にありし物語など　夫より今は此の諏訪ケ城の主に　此處に來つたる事共委しく話し　コデ井上九郎光興に鹿之助の事　ます　森「井上殿には斯く世を遁れたもふを誠に恐れ入るが、拙に軍學武術を御教授なされて下されたし、行末の事思ひやられまする」と觀たるもの〻心配之を察して井上も、鹿之助を膝元へ置て召使ながら軍學武術を授けます、諏訪ケ城の主として何に一ツ不自由なき身か、井上九郎光興の茅屋に至つて人も遙はぬ山奥にあつて、六韜三略奥義子孫子は申すまでもなく、劍道の奥義まで此の鹿之助に傳授致します、尤も父と云ひ母と云ひ何方も勇者であります、其子でありますから立派な人物になれさうなものであります、鹿之助此處に成長を致しました、故に此處を今も大鹿村と申します、相木森之助は諏訪ケ城にあつて敢て他國よりして侵されず無事に送つて居りましたが、茲に武田勝賴三州長篠の城へ、奥平美作守親子が僅か三千の同勢で籠つて居りまするものを、之に挑み戰ひ大軍を率しながら大ひに敗れ、跡部長坂の云ふ事をのみ用ひて遂に滅亡に及ぶと云ふ是に依て馬場美濃守が其趣を諏訪ケ城へ云ひ送りまして、是迄何事もなくありし其功勞實に報ひん事もなく、最早武田方の亡ると云ふ場合に相成つて我等は討死と覺悟仕り候へば、此の城も守る必要なし、何卒貴殿は此城を遁れ出で何れへなりとも身を落付け生涯安樂に送らるゝ樣」とある森之助之を見て涙にくれ、共に討死せんと云ひしが強て止められ、據ろなく諏訪ケ城を立退事になりました、然るに武田勝賴

제571호 1910. 12. 4.

KOREAN PENINSULA
AS VIEWED BY A FOREIGNER.

(續)外人の視たる半島(一)

一外人記述

▲余は本年の八月中本紙に寄稿し、已に讀者諸君と馴染になつた一外人だ、當時余は余の寄稿を繼續する筈であつた、而るに九月の末に於て半島有史未曾有の大事件が起つた、其大事件と云ふは說明するまでもなく、アンチキセエシヨンであるのだ。

▲併合前後に於ける官民日本人諸君は頗る多忙であつた、朝鮮人諸君も亦た多忙であつた、斯く世間一般が多忙を極めつゝある際に外人たる余が閑文字を弄して諸君を煩すは甚だ心無き業であると思つた、今や併合も日本の諺の通り七十五日以上を經過して喫煙室の話題にさへ登らなくなつた、茲に於てか半嶋在住の官民諸君は比較的閑日月を有することゝなつた、閑日月を有する諸君に閑文字を以て臨む必ずしも余にとつて犯罪にわらずだ、只だ恐る外人の寢言或は讀者諸君の一瞥にだも値せざらんことを。

▲余が今回各種の問題及び各種の事物に就て筆を染むるの始め如何にしても第一に書かざるべからざる事は外人間に於ける總督政治の評だ、總督政治其結果の良否はまだ判らぬ、茲に記するは單に其今日迄の經過と其、外觀とに就いてだ。

▲一概に外人と云つても其中に英佛露獨米人あり、各勝手に自己の立場から評する、ダから必ずしも正鵠を得たものとは思へぬ、併し日本人諸君にとつては僅かに參考として聞く値打がある

▲まつ外人間に於ける寺內總督の評判はドウかと云ふに各外人均さしく彼れの正直なることゝ彼れの職務に精勵なることを認めて居る、彼れが古風な佛蘭西仕込に不似品行に於ても上流日本人中に在つてまつ無事なる事は各外人が認めて居るところである、正直で精勵で品行が良いとは何とも申分の無い事だ、若しも彼れにして今より四十年若く、ソウして獨身であつたなら聟の口が降る程來るは慥かだ。

▲斯る人物が總督であるのだ、總督政治は日本人の云ふ寺內式で寺內總督其人のインカルネートしたものだ、第一に秩序、第二に質素斯く來るべきは當然の事だ、故プリンス、イトオの華美なく、故ヴアイカウント、ソネの風流なきは素より當然の事だ。

▲秩序と質素とは軍隊に於て最も必要な事だ、之れが日常の政治に應用されてドウ云ふものだろうかとは寺內將軍就任の始めに於て一般外人が疑問としたところだ、果然ストイツクの實行は政治に於ても有効なることが判つた、寺內總督はアツトリスト、改革者として成効するものとせられた。

東京電報(三日)

▲清皇帝の御謝電

清國皇族載洵殿下御來遊の際我皇室並に官民の優遇に對し清國皇帝陛下より深厚なる御謝電ありたり

▲勅選議員の內定

勅選議員の缺員は目下五名あるが其補缺議員としては男爵阪谷芳郎、大藏次官若槻禮次郎、遞信次官仲小路廉、愛知縣知事深野一三の四氏に略ぼ內定し他の一名は石本陸軍次官及び鮎井警視總監の內なるべし

▲練習艦隊の消息

練習艦隊笠置淺間の兩艦は昨二日サンペトロに安着したる旨海軍省に着電ありたり

▲膠州灣の軍港問題

豫て問題となり居りし清國膠州に於ける軍港設置問題は今回獨逸政府に於て清國政府より同地を清國海軍根據となす可き旨交涉を開始せり

▲英蘭銀行割引歩合

英蘭銀行にては今回公定割引歩合五厘引上げたり

▲三氏と政府委員

荒井度支部長官、大屋鐵道局長官及び兒玉會計局長の三氏は政府委員に任命さるべし

▲京濱間の運河計畫

豫に出願中なる京濱間運河開鑿計畫は內務省に於ても許可する事に決定したりと

▲淺間山の大噴火

昨二日午後八時三十分淺間山大噴火前橋附近一帶は灰を以て蔽はるゝに至り其鳴動東京に響き人心恟々たり其損害目下調査中なり

▲總督以下御陪宴

東宮殿下には一昨夜七時より寺內總督、倉富、荒井、兒玉、菊池、外波、藤田其他を東宮御所に召させられ御陪食を賜はりたり總督は詳細に朝鮮事情を奏上なしたるに對し殿下には殊の外御滿足に思召され優渥なる御諚を賜ふ

▲優勝旗の授與式

艦隊射擊演習に於て成績最も優等なりし淀、長門の兩艦に對する優勝旗授與式は來る十五日擧行さるべし

▲石油又々値上げ

石油は又々値上げされたり

▲郷純造氏の逝去

郷純造氏は今月逝去したり

雜報

高陽地方學事狀況

(村田憲兵中尉の談)

去廿五日管內視察の爲め高陽、交河、坡州等に出張、檜垣道長官の一行を待受け去る一日同道歸隊せし村田第二憲兵分隊長の談片によれば同地方が併合後民心の善變せるは爭ふべからざるの現象にして交河、坡州は又手置き高陽の如きは從來頗る人心險惡の地方なりとして注意され居たるに不拘、今や全く一變し新政を謳歌し我官憲取分け憲兵に信頼するの傾向あり今回道長官の巡視に際しても心から熱誠を捧げて歡迎したるは寔に慶すべき事柄なり偖て高陽以下二地方の各學校を視察せしに何れも昨年と比較しては生徒も夥しく增加し又規律も一般整齊し來り且つ日語の訓育に重きを置くものゝ如く中々練達し殊に唱歌の巧妙なるは舌を捲いて熱歎の外なしされど聊か滑稽の感なき能はざるは小學校兒童年齡の甚しき差隔にして十二三才の小童の中に二十二歲しかも有妻の靑年あること是れ右の爲め教師も訓育上に一層骨を折り居るものゝ如くなるが實に無理もなき次第にして這は韓人從來の弊風たる早婚上の產物に過ぎざるが是等は漸次矯風改善し得べく甚しく差隔を見ざるに努めざるべからざる事と信ず學科に就ては生徒は勿論父兄に到るまで從來兎角文明的教育を嫌厭し舊式教育を重視するの傾向ありて教師も不得巳父兄或は生徒の意向を迎合し來りしが併合以來は斷じて其陋飛頭俗を打破し文明式教育を施し來りたる處彼等が尤も嫌忌せし圖畫の如きも漸次其趣味を感じ來り成績も餘り劣惡にあらざるのみか從つて父兄の嗜好を惹起し今や却つて是れを獎勵するの傾向を生せり又生徒成績品の陳列所も設立され居り是れを一覽したるが相應に進步し佳とすべきものゝ尠からざれば他日大に見るべきものを出すなるべし坡州地方は窮民多く爲めに父兄は其筆墨紙の費に難んじ爲めに兒童の就學を見合せ居るの傾勢なるより爰に居住する我官吏則ち憲兵、郡吏等は夙に是れを憂ひ過月來如何にか方法を講じ彼等に筆墨紙料を給して就學せしめんと種々鳩首協議の結果、一の妙計を劃し今や其實施中にあり其妙計とは他なし坡州は元來雀の產地にして其夥多なる到底意料の外なるを以て先づ不就學兒童を强制的に入校せしめ教師自ら卒先し課餘兒童を隨へて雀狩りをなし捕獲したるものは一羽五厘宛に賣却し此收入を以て窮民の子弟に筆墨紙料を給し居ることゝ是れなり若し一朝多數の捕獲あり剩餘を生じたる場合は是れを郵便貯金と爲し他日の用に具へ又其餘は我居住民十戶に於て買取るの規約となり居れるが時により一萬や五千の捕獲ありたる際は京城に輸送して賣却する筈となり居れり是れ或意味に於て生徒に實業と云ふもオコがましけれど勞働の旨意を實地に訓育するものなれば頗る面白き方法なりと信ず云々

●京城郵便局の統計

京城郵便局十一月分取扱金高如左

受之部	口數	金額
爲替	四八六四	四八三、〇一一、五四〇
外國爲替	六四	一、六九二、八〇〇
取立金	五五	八、三六八、八〇〇
貯金	一五一三	三、八九〇、一二一
振替貯金	二六六	三、八五四、四四〇
歲入	二八四	三七、二四四、四七六
雜部金	四	一、二八〇

拂之部	口數	金額
爲替	三四三二	九三、四八五、三三〇
外國爲替	五一	一、三九九、六三〇
取立金	一七八三	一四、三三六、九四九
貯金	六九六	一〇、二四五、五四六
振替貯金	一〇八	七九、二三九、五七五
歲出	一九八	一七、四三六、〇六〇
雜部金	四	七、八六〇
年金恩給	四	八九、〇〇〇

●朝鮮最敬禮の習慣

朝鮮人の最敬禮は古來の習慣として父母及び師、主人等已れの尊崇する人に對して行ふを例とし日本人の如く特に至尊陛下に對して行ふものとは意義を異にし居るものにして昨報道長官の巡視と題し藥師川憲兵隊長の談を掲げたるが其文中最敬禮とあるは嚴格なる日本に於ける意味に非ずして朝鮮人の習慣を其儘記載したるものなれば念の爲め說明を加へ置く次第なるが今回併合に付き此最敬禮なる眞義も朝鮮人間に普及する由なり

●地方徵稅事務進捗

年々農作物收獲期より昨今の徵稅期に際しては各地に賊徒蜂起し爲めに人民の被害少なからず隨つて徵稅事務も澁滯すること珍らしからざりしが昨今各地とも頗る平穩なるより徵稅事務非常の進捗なしつゝあり殊に黃海道の如き道設に關する調查及び徵稅等に關しては昔日の如き顧慮なく未曾有の進捗となせるが是れ一に守備隊の配置宜しきを得たるものなりと悅び居れり

●廣南道路の竣工期

豫て起工中なりし廣南道路工事は愈々進捗し土工も三百間餘の堀鑿工事を除きては全部竣工したり殘餘の土工事は爰二週間を要せずして終了すべく土管の埋付けも同期間には全部落成する見込なれば遲くとも土工は本月中旬頃までに竣工す可し而して沿道十二個の土橋も今月中には全部架橋せらるゝ豫定なるも六個の板橋中三和川に架すべき六十間の長橋ある爲め全部の竣工を見るは來年二月十五日頃なるべしと

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客十一月分如左 [illegible]

▲南大門荷物扱高 十一月分如左 發送 一七七六 到着 一〇四七五

發送賃金 二〇三九、六五五

▲龍山驛の乘降客 十一月分如左 乘車客 七一七 下車客 六三九一

▲龍山驛荷物扱高 十一月分如左 發送 一四九八 到着 七二四九

發送賃金 五〇九〇、三二一

▲南大門驛乘降客 二日の分如左 乘車客 五九九 下車客 [illegible]

乘車賃金 一〇六五、六一

[illegible]

▲龍山驛の乘降客 二日の分如左

發送賃金 九二六、四六

乘車客 一四二 下客車 一七五

乘車賃金 一八八、〇三

▲龍山驛荷物扱高 二日の分如左

發送賃金 八八、二九

●佐藤巡教師來京 金光教々監一等

●巡教師佐藤義雄氏及神崎神道本部幹事は二日釜山より入京山本へ投宿したり

●平壤監獄增築工事

朝鮮に於ける監獄改善の第一着步として京城、大邱、平壤の三監獄より着々新築增築を加へつゝあるは既報の如くなるが今平壤監獄署增築工事の近況を聞くに一般建物にして既に棟上げを了したるものは病監看守休憩所教誨堂工場二棟監房二監物置倉庫事務所炊事場女工場等にして一般工事は豫定より進捗し殘餘に屬するものは監房死刑場一馬小屋一其他は小工事なるが死刑場は既に基礎工事を了し他は本年中に棟上を了るべしと

●税制調査會第一回

京城民團の税制調査會が夫れ〳〵委員を囑托したることは既報したるが來年度の民團豫算編成期に迫り居ることゝて來週水曜日を以て第一回を開き調查會長其他の部署を定め先づ京城龍山の家屋税統一に就き調查する筈なり

●外人の犯罪と統計

本月一日其の筋に於て調查に係る治外法權撤去後に於ける外人の犯罪は大体支那人を以て網羅せられ居るも未だ正確なる統計を閱知するを得ざるを以て追て報道すべきも他日仁川に於ける印度人の欺詐取財犯及平壤の米國人建物破壞等の二件に過ぎずと

●鎭南府の面長會議

鎭南浦府廳に於て去る二十八日より管內面長會議開催租税徵收及會計事務其の他に就て事務打合中なりしは既報の如くなるが二日を以て右會議全部終了したりと

●光化門郵便局統計

光化門郵便局十一月分取扱金高如左

受之部	口數	金額
爲替	一八八五	二三、七三三、九六〇
外國爲替	三	[illegible]、六八〇
取立金	八〇	一、二二四、四五五
貯金	一三九四	一〇、五三〇、四九四
振替貯金	一一三	三、九〇一、〇八〇
歲入	二五六	一〇、八四八、七五九

拂之部	口數	金額
爲替	一九五九	四〇、四二〇、〇二〇
取立金	五五八	九、二二〇、三三五
貯金	五四一	三、七七五、一三五
歲出	二三	三六、八九七、八六五
年金恩給	一	三五、〇〇〇

●年末賞與金の廢止

年末に至れば例の如く官吏は一年中の賞與として大小の受領金ありしが今年よりは官吏增俸の結果全部賞與金を廢止することゝなりたりと

●總督府參事官兼任

陸軍省參事官兼法制局參事官法學博士秋山雅之介氏は今回朝鮮總督府參事官兼任を命ぜられたり

大聯合會の好望

內地及朝鮮各會議所の大聯合會を明年四月當地に開催すべきは既報の如くなるが內地各會議所は何れも熱誠なる贊意を表し來れるが中にも京都會議所の如きは卒先して東京聯合會其の他數ケ所に向つて盛んに勸誘し居れる有樣なれば今回の大聯合會こそ定めて豫想外なる好結果を得べしと云ふ

電車賃の引下說

日韓瓦斯電氣株式會社にては現今龍山より鐘路迄を二區と定めあるを近日之を三區に改め同時に乘車賃を一區三錢に引下げる筈なりと云ふ

民長の板挾み

去る一日民團役所樓上に開ける民會委員會に於て某々議員より古城民長に向かつて併合以來民會の決議せしものにして未だ何等の施設をせざる者多きは如何なる理由に因るかと詰問せり此詰問に對して民長は事の玆に及びたるは全く其筋より認可なきを以て云々と答へたり夫より後民團の監督者並びに其他の件に關し民長と議員との爲に激論數刻に亙れり其結果民長は其筋に向かつて來年度の豫算編成並びに小學校其他土木事業に對する心得並びに民團の公文宛名其他取扱上に對する疑義に付其筋に向け公文の伺書を呈出するに到れりと云ふ

●去月中の釜山金融

去月中釜山港に於ける金融狀況を聞くに十一月は例年最も閑散なる季節所謂合月にして農繁季の爲め米豆の出廻も減少し一時閑散の模樣なりしが中旬に入り米豆の廻着も增加し來り折柄稅關移轉の際にて船積等にも頗る困難を感せり日本への移出も初旬よりは恢復し來り從つて荷爲替の取組も多少の增加を示せり是に反して鮮人の需要品即ち金巾、木綿類は前月に引續き極めて商況良好なりし是れが爲め朝鮮內地の荷爲替も激增せり尤も是等の爲めに金融に窘縮を感ずること更になく總体に於て至極順調にして合月としての資金の運轉は寧ろ例年に比して少なく一般に不景氣閑散なりしとは云へど經濟界の順ふにあるは甚だ喜ぶ可き傾嚮にして又本月は決算月にして資金の需要は一層增大すべきこと勿論なり

●道長官第三回巡視

檜垣道長官は去る一日第二回巡視を了して歸任したるが又々五日を以て管內第三回巡視の途に上る筈にて今回は西南部一帶の地を巡視し九郡に亙る視察を遂げ之れにて管內全部の巡視を終了する次第なりと云ふ尙は其巡視日割は左の如し

△十二月五日京城發△六日南陽發△七日安山發△八日永登浦發△九日金浦發△十日通津發△十一日江華發△十二日喬桐發△十三日仁川發△同日歸任

●天氣豫報（自三日午後六時至四日午後六時）[illegible]

●聯合會決議案配布

第九次朝鮮商業會議所聯合會に於ける重要問題たる京元三南兩鐵道速成請願及朝鮮輸出入の關税撤廢の件に就ては本來役員間に於て審議を重ねつゝありたるが今回右兩案を印刷し當初の希望を達せんが爲め來る五日山口會頭より貴衆兩院議員及各政黨政派に向け千余通の同案實施希望理由書を發送すべしと

●犯人捜索週報改革

從來警察署に於ては犯人捜索に關する周報を發し居れるが右周報は犯人捜索なる眞の目的に添はず一朝事ある際に一周間も捜索報告に接せざる時は不便少なからざるより今回右周報を排して日報にすべしとの說あり

●京城會議所役員會

當地日人商業會議所は三日午後一時より同樓上に役員會を開き明年四月開催の大聯合會計劃鐘路通りなる電氣鐵道軌道改修書記任用等に關し協議したり

●鴨綠江の交通杜絕

一日夜來の寒氣の爲め鴨綠江は結氷し爲めに二日以來交通杜絕の姿となれり

●石井憲兵隊長轉補

朝鮮憲兵隊長中佐慶尙北道警務部長石井權藏氏は姬路憲兵隊長に轉補し其後任として姬路憲兵隊長中佐三根省一氏補任されたり

●趙重應子の歸京期

朝鮮貴族觀光團一行を引率して渡日せる子爵趙重應氏其の後の消息を聞くに子は今尙は馬關滯在中にして一兩日中には歸京すべき旨私信ありたりと

●田中經理部長退役

第二師團經理部長一等主計正田中三郎氏は今回豫備仰付けられたり

●德富猪一郎氏着京

既報國民新聞社長德富猪一郎氏は三日午後八時十分南大門着列車にて入京す

●花田氏の送別會● 臺灣日々新聞東京支局長として出發する花田節氏に對し京城記者團は三日午後五時より花月に於て盛なる送別會を開催したり因に氏は來る七日午前九時南大門發東上すと

●太田夫人の寄附● 今回京城へ轉任の前韓國銀行仁川支配人太田三郎氏夫人哲子氏は二日赤十字看護婦會仁川支部へ金二十圓を寄附せられたりと

▲相場電報

(三日)(明治町西村支店着電)

▲大阪株式(二月限)

		(前場)	(後場)
▲神戶電鐵	寄	出來不申	三八、三〇〇
	引	三八、二〇〇	出來不申
▲京坂電鐵	同	六〇、五〇〇	六〇、五〇〇 上
	同	六〇、一〇〇	同
▲鐘淵紡績	同	一〇六、〇〇〇	一〇五、四〇〇
	同	一〇五、七〇〇	一〇五、六〇〇
▲日本郵船	同		
	同	出來不申	出來不申

▲東京	同	一三三、七〇〇	一三三、二〇〇
株新	同	一三三、四〇〇	一三三、五〇〇
▲大阪	同	一四二、三〇〇	一四一、八〇〇
株式	同	一四一、九〇〇	一四一、八〇〇
▲同直	同	一〇四、七〇〇	一四〇、二〇〇
取引	同	一〇四、一〇〇	一四〇、二〇〇

▲大阪期米▼

●前場● 十二月寄十四圓七十錢止六十七錢▲一月寄七十六錢止七二錢▲二月寄十五圓四錢止十五圓三錢

●後場● 十二月寄六十七錢▲一月寄七十四錢▲二月寄十五圓一錢

▲仁川米豆取引▼

●前場● 一月限寄九圓五十二錢▲止五十四錢▲二月寄九圓四十五錢▲最高五十六錢▲安値四十五錢▲止五十五錢

●後場● 二月寄九圓五十三錢最高五十五錢▲最低四十八錢▲止五十錢

▲京城手形交換高▼

十二月三日　金高 一四六、八三五、〇二　枚數 三二九

▲仁川港の船舶出入▼

▲隅田川丸 四日大阪より入港
▲神代丸 同 大坂より入港
▲勝利丸・ 同 大連より入港
▲神代丸 同 大阪へ向出港

▲治外法權▼

今や半島で最も缺乏して居る者は人と金だ、人と金、成程月給さへ出せば、高利さへ出せば萬更無い事もないのだ、併し記者の云ふ人とは眞面目で働きのある人の事で金とは利息の安い金の事だ▲今や總督府は半島人材の淵叢と云はれて居る、併し此淵叢に眞面目な人間が何人あるか、總督府でさへ之れだ、他の處は推して知るべしだ▲コウ云つたら世人は記者が無禮の言を吐いて世人を侮辱するものと云ふであろう、併し記者が齒に衣着せぬ言分を書けばコンナ者だ▲金はドウかと云ふと成程利息は近來一般に下がつた、併し東拓が五分五厘の金を借りて又貸しをして割り合せ樣として居るトコロを見ると一般の趨勢が察せられる▲半島に於ける有形無形の事物が思ふ樣に進まないのは種々の原因もあらうが、煎ずるところは眞面目な人間と低利の資金が缺乏して居る爲だ▲別項雜報にあるが如く過日の民團議員委員會で委員と民長との間に激論がわつた、迫まる委員も尤だが、迫られる民長に爲つたら實にツライ事だ▲一体民團の事に關しては總督府當局者が併合前に於てチヤンと考へて居らるべき筈だ、併合が濟んで百日以上にもなる今日、マダドウして良いか判らぬなどゝ極め込んで居るのは不親切以上寧ろ當局の失態と云ふべしだ▲才人德富蘇峰がヤツて來た、御用紙を引受けてマダ間も無いのにモー改革ださ▲本社主催新年休養會は別項記事の如く溫陽溫泉で開く、有志の御方は御加入が良からう。

▲京龍列車の貨客▼

乗車賃金 四二四六一、四七 ▲南大門荷物扱高 十一月分如左 發送 一七七六 到着 一〇四七五 發送賃金 二〇三九、六五 ▲龍山驛の乗降客 十一月分如左 [illegible] 乗車賃金 [illegible]〇八二、六〇七 [illegible] 六三九一 ▲龍山驛荷物扱高 十一月分如左 發送 一四九八 到着 七二四九 發送賃金 五〇九〇、三二

▲南大門驛乗降客 二日の分如左 乗車客 五九九 下車客 [illegible] 乗車賃金 一〇[illegible] ▲南大門荷物扱高 二日の分如左 發送 二六屯 到着 三二五屯 發送賃金 九二六、四六 ▲龍山驛の乗降客 二日の分如左 乗車客 一四二 下車客 一七五 乗車賃金 一八八、〇三 ▲龍山驛荷物扱高 [illegible] 發送 九屯 到着 三四四屯 發送賃金 八八、二九

●佐藤巡教師來京 金光教々監一等巡教師佐藤義雄氏及神崎神道本部幹事は二日釜山より入京山本[illegible]へ投宿[illegible]

南東の風雲

[illegible]

甘小料理店主（五）

▽理由因縁斯くの通り

永松乃作（田舎家）が双方の間を斡旋調停したる結果廿日田舎家に於て地主側代表者を甲とし料理店側委員を乙とし、締結したる假契約に曰く

第一條　移轉地は西署盤松坊尾洞、蛤洞の内凡一萬坪以内を甲に於て買收し希望者にして相當の保證金を双方協議の上決定したる分を差入れたるものに甲に於て家屋を建築し乙に提供する事

第二條　土地貸借期限は契約二十ケ年とす其後は双方協議の上協定する事

第三條　貸借地料は契約の日より向ふ五ケ年間は一ケ月に付土地の評定等級に對し一坪金六錢より金十錢即ち平均八錢として協定する事
尤も必要に依り通路築造の場合にありては溝渠を合せ一等を五間とし二等を三間とす
以後年限は更に双方合議の上土地の盛衰に因り協定する事

第四條　乙にして指定地敷地希望者へは土地整理の上評定特價格に依り三ケ月に限り甲より讓渡するものとす

第五條　街路又は家屋建築設計は双方協議する事、但し家賃は實價格に對し月二歩五厘を以て一ケ月の家賃歩合にする事

第六條　建築物に對する月賦償還の方法は双方協議の上歩合を協定する事

第七條　土地買收の際は甲は買收に關する書類を乙に點檢せしむる事

（後略）而して料理店側に於ては之れを總會に附し議決の上總監部に請願すべき筈に運び永松より鶴田に渡したるは九月二十四日なりき、然るに斯くと知りたる龍山凱旋町石垣榮太郎外四名は代表者側に對し加入を申込みしにぞ直ちに同じく西大門分署の手を經て連署の上其の筋へ認可請願書（書面略）の進達を願出でたるが此の時しも一般料理店の集中地區選定が到底指定期間内（九月三十日）迄に決定すべき模様なきを以て其の筋にては新町、桃山の二ケ所の外絶對に許可せざる方針に決定したる旨聞へたるにぞ一同遽かに騒ぎ立ちて共に評議の結果二十日前記の如く假契約を締結して、二十四日總會を開す迄にしたる一件書類は鶴田の手許に握り潰されること判明せしにぞ其の不始末を詰りしに失念し居たりとの事に喧嘩も出來ず百方奔走の結果出願遲延理由書（書面略）は假契約書を添付し其筋に提出したるも機は既に逸し居たることとて不許可として却下せらるゝに至りしかば小料理店主一同は死んだ兒の齡を數へる同機何か秘密があつたに相違なしと毎日々々總會を開き詮議せしに既報の事實判明せし故扱は一杯食つたかと今更ながら口惜しがつても跡の祭り日陰に置かれた蛤同様大口開いて居る譯けなり、頗る甘い小料理店主の理由因縁、書けば未だ〳〵材料あれど一般讀者には趣味なき事なれば茲に一先づ筆を擱く

寢取つた情夫に逃げらる

▽れ雪は泣き藤子は喜ぶ

太平町一丁目料理店八重咲樓に靜岡縣生れ富永雪（二一）と云ふれ多福仲居あり此の妓性來多情者とて未だ肩揚げの取れぬ内より附近の誰れ彼れ相手嫌ず乳繰り合ひ遂に國に居られず臺灣に渡り賣春婦に從事中枕探しをなしたる爲め臺灣にも居られず朝鮮に渡り釜山にて某料理屋に酌婦に入り込み夫れより平壤に鞍替へ酌婦稼業中情夫に逐引許り爲し御定りの借金に惡心を起し窃盜を働き京城に逃げ延びたるを西部署の手に逮捕せられ京城區裁判所に於て懲役三ケ月に處せられ永登浦監獄仕監中彼の窃盜前科數犯の坂本いせと姉妹の縁を結び昨年十二月出獄し太平町料理店に入り込み酌婦の客にてチョッコン遊皮の剝けた者と見たら横取りして金を打込むと云ふ調子なりし内目下西小門通り〇〇亭に藤子（二四）とて遊皮の剝けた凄腕持ちの酌婦がきた永樂亭にて酌婦稼業中の情夫なる島根縣人にて勳七等の肩書を有する煉瓦並に左官職田原長次郎と云へる者の粋な處に横戀慕して金を打ち込み遂に横取りして附近の温突に住はせ置き夫れが爲め多額の借金を作り八重咲に住替て同所にても借金を作り打ち込み居りしにか田村は與からられ雪に心なかりしと見へ此處らで逃げるが得策と殺頭何處ともなく逃げ去りしとてれ雪は血眼になりて其の行衛を搜し居るとは氣の毒だが藤子が知つたら大喜び

就縛犯人の罪狀

三十日午前六時頃大賊菅原隆夫と共に南部署留置場を脱したるが二日水登浦に於て逮捕せられ三日檢事局に送られたる靜岡縣安倍郡脇織村字新開九番地當時龍山京町居住豆腐賣子野崎治平（三七）の罪狀を聞くに九月上旬より十月十日迄の間に於て主人武藤の豆腐賣揚代金二十餘圓を横領費消し更らに十一月二十九日午前十時頃主人武藤が机の上に置きたる金五圓を窃取し同月二十七日龍山東町三丁目材木商野村幸太郎方庭内に置きわかし自轉車を窃取したること發覺し南部署に留置中のものなりしと

鮮人乞食の凍死

京畿道廣州郡陰内乞食韓雲集（三七）は長谷川町一丁目街路に凍餓死したり

落成したる京城高等女學校舍

人力車賃の一定

京城府内にある人力車は去る二十八年五月警視廳時代に於て乗車賃を一定したるも其後該規定を遵守する者なく勝手に賃金を貪ぼり乗客の迷惑少からざるを以て警務總監部にては近日府内にある日鮮の人力車賃銀の標準を定め道路の要所に賃銀表を立てしむる筈なりと云ふ

大隆社の理事拘引

永樂町大隆社なる看板を掲げ漁業經營其の他の名目にて朝鮮貴族側を說き付け株金を募集したる該會社理事阿比留桂作は小原嚴等に係る内務よ本社探報子が苦心精探したる眞相を報道したるに對し彼等は當時事實無根なりとて取消を爲したるが該事件は京城地方裁判所檢事局より直接一昨二日伊藤檢事は書記を随へ小島阿比留宅に家宅搜索を爲し銅峴分署に假豫審を開き即時拘引狀を執行したりと然るに阿比留は目下逃走中の事を悔し居る爲め令狀執行出來ざる由なるが同人は目下大阪地方に潜伏し居る模様なりと兎角は豫審決定を待つて報道する處あるべし

逃走囚詐欺取財

永登浦分監已決囚室田長平は逃走中神崎敬三郎と共謀し九月廿四日大阪新町濱野千太郎より金十圓を騙取したる事件は京城地方裁判所に於て懲役四ケ月に處せらる

▲燐寸一本の値格▼

日本國民は上下を問はず、燐寸を徒に取扱ふ風があるが、詳しく調査すると燐寸一本は其價格正に米粒十八個に當る、度量衡の原器を取寄せ計つた事がある、乃ち調査の結果に據ると、燐寸一箱は、大抵五十五本を含有する事を標準とする、一箱を二厘の平均價に取つて一本が三糸六忽に當る事を發見した、處で米一合一錢八厘として、一合には約八千の米粒がある、尤も一合に米粒幾つを含有するかの調査は、極めての難問題で、一寸した手加減でも五十粒や百粒は直ぐ變更するから確數は到底得られぬが、幾回も精算の結果、先づ一合八千粒と見て差支へは無い、すると米粒一個は正に二忽に當る依て米十八粒が燐寸一本の價に相當する、多數の人々は、寧ろ燐寸數本が米一粒に相當するかの如く思つて居るらし、此觀念より燐寸を粗末に取扱つてゐるものと思はれる、稻一穗に付米粒は幾つ位稔るかと云ふに、平均僅か百二十内外に止まる、而かも之を稔らす迄の丹精辛苦は一通りの骨折ではない、故に日本人は自ら米一粒をも粗末にせぬやう養成されてゐるが、却て米十八個に値する燐寸一本は譯もなく消費する、少し風のある時など煙草一本を點けるにも三四本は見る間に無駄にして了ふ、若し之を米粒に換算するならば三本は五十四粒、五本は實に九十粒となるのである、習慣とは云ひ乍ら、日本人は燐寸の取扱ひを斯く一本なればとて二本なればとて、粗末にするは誠むべき事だと思ふ（李家石川縣知事談）

仁川藝妓の腕比

不景氣勝ちに加ふるに霜枯れ時の仁川花柳界に於ける美くしい姐さん達が眉根に八を寄せながら猛烈に奮闘したる結果とか云ふを十番迄紹介せんに

米蝶（一富士）福助（松山）玉勇（鱗）金助（松山）久子（一富士）九九（榮亭）富美子（一富士）昇（一富士）笑子（鱗）君枝（淺岡）

●敷島便り　敷島乙種藝妓檢梅受檢者四十七人の内局部洗滌四人歸國二人自宅休業三人旅行二人▲一昨夜の遊客は二十七人九十一圓六十七錢の散財高

▲壽座　四日の代り狂言は前「櫻竹梅三女の仇討」切「阿波鳴門」八段目にして重なる配役左の如し
れ菊れ松（瓶若）觀右衛門（紅三郎）れ菊（若太郎）六兵衛（珀太郎）た竹（菊枝）十兵衛（彦三郎）清水一角（雛十郎）坂田庄三郎、みよちん太郎、幸作、みよちん（鳳十郎）れ花（園藏）れ弓（長次郎）たつ（鶴丸）
猶は五日の替り狂言は「忠臣藏」裏表通しにてれ名殘り大入御禮として木戸無料

日曜集會（四日）

●メソヂスト教會（旭町二丁目）午前九時より日曜學校聖書研究あり午前十時より木原牧師の禮拜說教「模範的基督信者」あり午後七時より同牧師の傳道說教「愛苦あるもの日來れ」あり

●同上龍山講義所　新市街漢江通り同講義所にては午後二時より日曜學校あり午後七時より山口照平師の傳道說教「感謝と讃美の生涯」あり參聽隨意

●京城基督教會（日の出町）午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教あり午後七時よりは傳道說教ありと

●微笑會　初音町二丁目臨濟寺に於て午後三時より例會開催無盡燈論提唱あり參禪參聽とも隨意なり

新年休養會の主催

本社は來春早々温陽温泉に於て新年休養會なるものを主催する計畫中なるが其の趣意は多數一所に會して而して費用を節して愉快に遊ぶと云ふにあるのである新年と云へば誰れしも休むことが多く會飲會食に夜を更すことの機會が多い從つて健康を害することが多い此れは折角の正月をダイなしにするものと云ふべきである然るに此の閑暇を利用して入浴しつゝ集團的に經濟的に衛生的に休養すると云ふのである此れは社交上にも又尠なからぬ利益あることとなりと信ずる計畫の委細が追つて發表されたならば乾度歡迎せらるゝであらふ

▲平民文壇▼

▲南大門外蓬萊町に沿ひたる城壁取毀し作業は三ケ月以來中止の姿にあり日鮮人の通行相當に頻繁なる通路に斷崖の一部並に石塊を堆積放棄し置くは當に降雨に際して崩壞の危險恐る可きものある而已にあらずだ（風郎子）▲南大門驛の〇〇掛〇〇の女房は泥棒だと云ふ投書は事實信を措き難し沒とす（係）▲〇〇府御用達吉田は〇助は〇〇邸に出入すると云ふ事を鼻にかけ大風呂敷を擴げて人の惡口をきいて得意として居るが着京當時の事を思ふて少し愼み玉へ（聞太生）▲第一樓玉江君にれ通ひの方に申す君は如何程思ふても彼には二世かけた者がれる故少し内地の事を考へ愼み給へ（南山生）▲二世かけた人とは自分の事ぢやないか（小僧）▲本町四丁目木室樣れ葉書有り難ふ御昨日の本欄で寄町會社員樣よりも御忠告兩人樣御親切の段感謝します實は御意見に從ひます處ですが彼の扇は滿七ケ年間も勤續して居る者でもあるし且つ彼の齡になつても歸るに家なき女ですから主人も實は夫れに同情して使ひ居る次第です何卒此の邊を察して遣つて下さい併し御忠告に依り主人よりれ扇には非常に意見致しました何うか相變らず（井門支店帳場）▲南大門通り某店の番頭山根さんは旭町某家の下女れせきと好い交情併し少し愼しまぬと（南山生）▲仁川〇〇所の所長は菊池か云ふ幕僚と日々人夫の頭をハ子て多額の金を取るそうだ夫れに所長の宅へ行つて見ると立派な硯のテーブルや戸棚がある又た裏には三ケ年間も使用し得る程薪が積んである何所で拵へさせたり買つたりしたのか此れを知つて居る方はないか（三郎高綱）▲仁川仲町藤井事務所の代書山口某は目下何かの發覺を恐れ妾を探して居る然るに其の妻君（仁川子）▲以下を削除す（係）▲長谷川町にミルクホールがある彼の店は抑も誰れの盡力に依つて出來たかと云ふとダイナマイト娼妓玉家の米駒の盡力に依つて出來たものである▲然るに其後（風聞子）▲風聞子三面の種明しをしては困る少し默つて居て呉れ玉へ（三面子）▲頼まれゝ見れば他ならぬ足下の事殘念ながら沈默する（風聞子）

社告

▲高等記者一名採用

希望者は履歷書携帶來社せらるべし但し確實なる身元保證人を要す

十二月　京城新報社

運勢

十二月四日舊十一月二日 六白赤口癸卯定△一白 旅行運送注意し相談訂盟訂約婚談委囑連盟は忌む其他進んで吉△二黑 旅行金談貸借仲裁に忌む其他吉婚談及子孫の事を擧ぐるに尤も佳△三碧 注意すべし擧妄動に傾き易し衛生負傷、輕し新事旅行見合せの事△四綠 不和中絕紛爭起り易し金品授受證券の事故際起り易し！新事婚談旅行見合すべし△五黃 賣買機を失し熟議破綻する事あり其他靜平△六白 證券及貸借相違起り易し盜害遺失防ぐべし新事旅行婚談共同組合の事見合すべし△七赤 排濟若くは詐謗を受け易し貸借證券の事注意すべし！其他進んで吉△八白 家族從者に付き世話事あり紛爭若くは怒情を挑發され易し其他平和なり△九紫 盜難遺失防ぐべし證券印章の事間違ひ易し新事旅行見合せの事

十二月五日舊十一月三日五黃先勝甲辰執△一白 常務を守るべし凡て埒ち明かぬ日諸事手控への事旅行農業林業進んで差障なし△二黑 旅行移轉轉業改革整理遂行に吉從者部下の事損失心配あり△三碧 諸事謹愼の事盜害水損甚るべし婚談起業開店宴會に尤も忌む△四綠 外誘を避け保證連帶訂盟約事旅行見合せの事△五黃 新事旅行婚談貸借金談不動産上の事劾事らず家庭上、煩累煩鎖多き日なり△六白 快欣 日旅行消費取引貸借進んで吉昔信特異を報ずるあらん△七赤 起業開店婚談命名披露宴會連盟連合組合い事に好良雇入れ旅行見合せらるべし△八白 保證受印を慎じ盜難遺失を防ぐべし新事見合せの事△九紫 面接會見熱談談合の事吉其他凡て平和（八日本町五丁目三二館判斷）

京城居留民團公文

公告第四十六號

縊死者 住所居所氏名年齡不詳

相貌 日本人 男 一人

一丈五尺三寸七分
一頭髮薄ク五分刈
一顏細長キ方
一鼻目耳並
一口小ナル方
一髭鬚アルモ剃落シ一分位生ヘ腮毛ニ白毛ヲ交ユ
一中肉ニシテ勞働者體ナリ
一推定年齡五十四五歲

衣類
一白紀州子ル襦袢
一佐野村ト染拔キタル印文字入木綿一枚
一半天無印半天但裾ニ波模樣アリ一枚
一同上茶色羅紗製鳥打帽子一個
一木綿兵兒帶一筋
一紺セル地ノ股引但内ニ一股引ヲ締メ居ルモノ二枚
一朝鮮草履ヲ穿チ左右ニ黑ノ靴足袋ヲ穿ク

縊死場所
一京城南山好道園内桃源亭南上方約一丁ヲ隔ツル松林内

右其筋ニ於テ相當檢視濟ノ上引渡サレタルモノニ有之候ニ付心當ノ者ハ所ヘ申出ヲルヘシ

明治四十三年十一月三十日　京城居留民團民長　古城管堂

廣告

公告

一清州鳥致院間橋梁貳箇所架設工事
右十二月八日午後一時入札ニ附ス

朝鮮總督府内務部地方局土木課